



垂水区医師会 副会長 江草 康夫先生



地域医療と地域連携の向上を目指す開業医の先生方へのインタビュー第2回目は、垂水区医師会副会長でもある江草クリニックの江草康夫先生に平成22年11月4日にお話を伺いに行ってきました。江草先生は、以前から医師会の広報を担当しておられ、他の病院の地域医療の取り組みや先生方からのご意見やご要望を聞く事ができ、

とても貴重な経験となりました。

Q：病院の地域医療について

A：ここ数年前から、病院では患者さんと呼ぶ時「患者様」という呼び方が使われるようになりました。サービスの向上を意識しているのか、いつの間にかそれが定着してきているようです。ただ、医師同士の間では患者さんとの距離感や違和感があるとして「患者様」と呼ぶことに少し疑問をもっている医師も多数おられるようです。病院によっては「患者様」から「患者さん」と呼び方を戻すところも増えてきており、院内に呼称変更の掲示をしているところもあるみたいです。

Q：病院と医院との病診連携について

A：開業医の先生方は、自分の患者さんを病院へ紹介するとき、やはり顔を知っている先生にお願いをすることが多いように思います。紹介先の病院に自分の知っている先生がいないと連携室を通してなかなかお願いしにくいのが現状です。やはり、お互いの顔を知ってface to faceの関係で連携をとっていくことが病診連携の発展に繋がっていくのではないのでしょうか。
(地域医療連携室 友尻 あや)

患者様のお声



50歳男性より

「初めて手術を受けることになり、インターネットで近隣の良い病院を探して、この病院に来ました。“良い”と評価を受けている事もあって、手術は不安でしたが、安心してお願いする事が出来ました。看護師さんもおもしろく、明るい方が多く、経過も順調でこの病院にして良かったです」というお声を頂きました。

外科病棟では、個性豊かな信頼できる医師達と、明るく愉快的な看護師達が入院から手術、退院まで、寄り添い、回復を共に感じ、喜べるようなアットホームな病棟を目指して頑張っています。

初期研修2年目を迎えて

私が研修医として働きだしてから、1年半が過ぎましたが、振り返ってみるとアツという間であつたように感じます。人の命を背負うという責任感もあり、日々緊張の連続ですが、医師としての仕事の面白さややりがいも感じる事ができ、この仕事を選んで本当に良かったと思います。

まだ、1年半という短い期間ですが、多くの症例を経験し、臨床に対して熱意のある先生方に指導して頂き非常に勉強になりました。

各専門科の先生にコンサルトする機会も多い為、自然と診療科の壁を越え、色々な先生方と繋がりができ、多くの指導、助言を頂きました。

患者様を診る時も、上級医師が私に治療の主導権を与えてくれ、後で細かい所までチェックして下さい、ただ教えて頂くのではなく、まず私が考えて治療をするという環境を用意して頂いているのは、非常に勉強になります。

初期研修として当院で働くのは後半年ですが、恵まれた環境を無駄にせず、日々モチベーションを高く保って精進していきたいと思っています。

(研修医 野山 裕揮)

電子カルテ導入

平成22年9月より電子カルテを導入しました。電子カルテ導入による患者様にとつての最大のメリットは、院内のあらゆる部署での情報の共有が可能となり、チーム医療が推進されることで、患者様により安全で充実した医療を受けて頂けることです。

具体的には次のようなものです。

＊紙カルテにおける「保管場所の検索」「使用部署への搬送」がなくなり、院内各所で必要な情報を速やかに入手できる。

＊手書きした文字より読み易く、理解し易い。

＊文章の引用機能により、転記間違いが起こりにくい。

＊電子カルテの記録・参照には利用者登録が必要であり、操作記録が残ることセキュリティが保たれるなど。

当院では電子カルテ導入と同時に、外来診察室に医療クラークを配置し、医師の操作補助を行うことで、診療がスムーズに行えるように工夫しています。

また、今後は専門的知識を持った看護師を複数配置し、気軽に様々な相談をして頂けるよう、外来看護の充実を図っていききたいと思います。

電子カルテは必ずしも待ち時間の短縮などにはつながらず、医療者が画面を見る時間も多くなりがちですが、患者様との対話を重視し、より良い医療を行えるよう職員一同頑張っています。

(システム管理室 竹内 慎一)

★インフルエンザのA型、B型について？
A型、B型、C型の違いは、ウイルスの遺伝子に構成するタンパク質のある部分の違いに基づいて分類されています。A型は多くの変異株があり、世界的な大流行を引き起こします。昨シーズン流行した新型インフルエンザや、かつてスペイン風邪、ホンコン風邪といわれたものはいずれもA型です。B型も流行がありますが、C型は軽症のことが多いです。

★インフルエンザウイルスは患者のくちやつてうつるの？
インフルエンザウイルスは患者のくちやつてうつるの？

★インフルエンザのA型、B型について？
A型、B型、C型の違いは、ウイルスの遺伝子に構成するタンパク質のある部分の違いに基づいて分類されています。A型は多くの変異株があり、世界的な大流行を引き起こします。昨シーズン流行した新型インフルエンザや、かつてスペイン風邪、ホンコン風邪といわれたものはいずれもA型です。B型も流行がありますが、C型は軽症のことが多いです。

★インフルエンザのA型、B型について？
A型、B型、C型の違いは、ウイルスの遺伝子に構成するタンパク質のある部分の違いに基づいて分類されています。A型は多くの変異株があり、世界的な大流行を引き起こします。昨シーズン流行した新型インフルエンザや、かつてスペイン風邪、ホンコン風邪といわれたものはいずれもA型です。B型も流行がありますが、C型は軽症のことが多いです。

★インフルエンザのA型、B型について？
A型、B型、C型の違いは、ウイルスの遺伝子に構成するタンパク質のある部分の違いに基づいて分類されています。A型は多くの変異株があり、世界的な大流行を引き起こします。昨シーズン流行した新型インフルエンザや、かつてスペイン風邪、ホンコン風邪といわれたものはいずれもA型です。B型も流行がありますが、C型は軽症のことが多いです。

インフルエンザ流行シーズン到来

わゆる新型インフルエンザより、季節型と呼ばれるA香港型のほうが多く検出されているようです。

当院で施行しました平成22年9月以降のインフルエンザ迅速検査では、A型陽性が4例、入院は小児1例(すでに軽快退院)です。(平成22年11月1日現在)

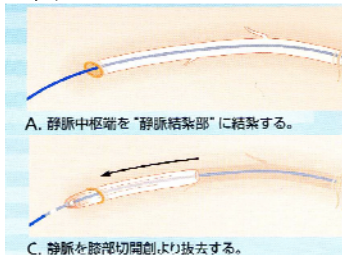
は、気管支炎、肺炎などを併発したり基礎疾患の悪化を招いたりすることがあります。

しゃみや咳、痰などで吐き出される微粒子(飛沫)を吸い込んで感染する「飛沫感染」が中心です。室内で感染者がくしゃみやなどをした後にしばらく空気中に浮遊している「空気感染」や、ウイルスが付着した衣服などに触れておこる「接触感染」もあるといわれています。

日常生活でできる予防法

- ①栄養と休養をとって体力をつけ、抵抗力を高める
- ②人ごみを避ける、マスクをする、外出後は手洗いうがいをする
- ③万が一かかった場合はエチケットマスクをして周囲への感染を防ぐ

図1 内翻式静脈剥去術



下肢静脈瘤は、静脈弁不全によって生じた逆流によるうっ滞を呈した逆病気で、症状が非常に重くなる場合があります。逆流を止める(高位結紮手術)と、静脈全体を除去する(静脈剥去手術)という方法で行うことができます。

下肢静脈瘤は、静脈弁不全によって生じた逆流によるうっ滞を呈した逆病気で、症状が非常に重くなる場合があります。逆流を止める(高位結紮手術)と、静脈全体を除去する(静脈剥去手術)という方法で行うことができます。

下肢静脈瘤は、静脈弁不全によって生じた逆流によるうっ滞を呈した逆病気で、症状が非常に重くなる場合があります。逆流を止める(高位結紮手術)と、静脈全体を除去する(静脈剥去手術)という方法で行うことができます。

下肢静脈瘤に対する新しい取り組み

【内翻式ストリッパーとSEPS】

図2

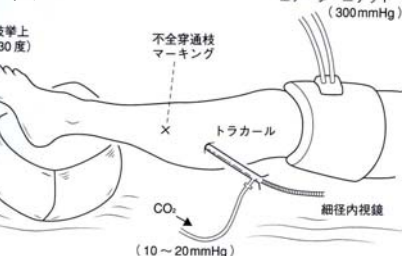


皮膚脂肪硬化症(Lipodermatosclerosis)

内翻式ストリッパーは、逆流を止める(高位結紮手術)と、静脈全体を除去する(静脈剥去手術)という方法で行うことができます。

内翻式ストリッパーは、逆流を止める(高位結紮手術)と、静脈全体を除去する(静脈剥去手術)という方法で行うことができます。

図3



内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術

内翻式ストリッパーは、逆流を止める(高位結紮手術)と、静脈全体を除去する(静脈剥去手術)という方法で行うことができます。

内翻式ストリッパーは、逆流を止める(高位結紮手術)と、静脈全体を除去する(静脈剥去手術)という方法で行うことができます。

内翻式ストリッパーは、逆流を止める(高位結紮手術)と、静脈全体を除去する(静脈剥去手術)という方法で行うことができます。

内翻式ストリッパーは、逆流を止める(高位結紮手術)と、静脈全体を除去する(静脈剥去手術)という方法で行うことができます。

内翻式ストリッパーは、逆流を止める(高位結紮手術)と、静脈全体を除去する(静脈剥去手術)という方法で行うことができます。

内翻式ストリッパーは、逆流を止める(高位結紮手術)と、静脈全体を除去する(静脈剥去手術)という方法で行うことができます。

内翻式ストリッパーは、逆流を止める(高位結紮手術)と、静脈全体を除去する(静脈剥去手術)という方法で行うことができます。

内翻式ストリッパーは、逆流を止める(高位結紮手術)と、静脈全体を除去する(静脈剥去手術)という方法で行うことができます。

クラシックコンサート



クラシックコンサート

薬剤師による服薬指導について

薬剤部では、患者様へお薬の説明をおこなっております。

入院患者様へは、お薬をきちんと飲むことができているか、飲み方がわかりにくくないか、飲みづらいお薬はないか、お薬の効果がでているか、副作用は出ていないかなど、さまざまなことを確認させていただいております。また、現在お使いになっているお薬を持参して頂き、入院時に確認を行っているほか、退院時には、今後の生活において薬の服用方法・副作用で注意する点があれば、お話をさせていただいております。眼軟膏の使い方・湿布薬の貼り方・坐薬の保管方法・薬をのみ忘れた時の対応・お薬の飲みあわせなど、何か気になることがございましたら、看護師を通してでも結構ですので、お尋ねください。（主治医に伝え忘れたこともお聞きします。）

外来患者様へは、インスリンの操作や血糖測定の方法、吸入指導などをおこなっております。詳しい説明や個室での面談をご希望の場合は、1階の薬剤部に直接いらしてください。その際、病棟での担当薬剤師をご指名いただいても結構です。どうぞお気軽に声をおかけください。

薬剤部 柴田香織

ストーマ管理について

皆さん、ストーマをご存知ですか？

ストーマとは人工肛門・人工膀胱を意味する言葉です。何らかの原因によってストーマを造設した方は、ストーマ管理が必要になります。当院でもストーマを造設した方には、退院までにストーマの管理方法についての指導を受けて頂いています。

ところが最近では、入院期間がどんどん短縮している為、自信満々で帰る方は少ないと思います。そこでストーマリハビリテーションがとても大切になってきます。ストーマケアも初めて行う時は初心者ですが、リハビリ(処置の練習や工夫など)を重ねることで自信が増し、日常生活も落ち着いてきます。

当院では、スムーズケアの専門家である皮膚・排泄ケア認定看護師が退院後のストーマ管理に関する悩みやご相談に対応させて頂いております。

現在、スムーズにケアができているという方も年齢、季節、体調や体重の変化などによって、ストーマ管理が難しくなることもあります。困ったとき、困っていないくてもストーマの定期的な健康診断に来てみませんか？お電話でお気軽にご相談下さい。

ストーマ外来 池田未央

術中迅速とは…

術中迅速とは手術中に行う検査です。当院では主に乳癌、胃癌、卵巣腫瘍等に多く用いられます。

この検査は、病変が良性（炎症等）、悪性（癌等）どちらなのかを決めたり、病変を切除した面に取り残しがないか、周囲のリンパ節等に転移がないかを確認する時に行います。

患者様にとっては、病理専門医により良性・悪性の診断がされ、適切な手術を受けていただくことができ、手術回数も少なく済みます。また、取り残しがないかを確認することによる再発の可能性が低くなります。

◎術中迅速病理診断の手順



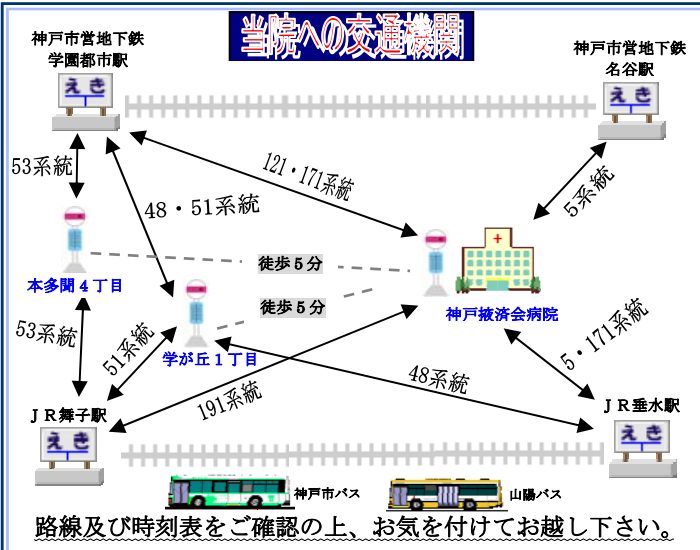
最後にこの標本を病理専門医が顕微鏡で観察、診断し、手術中の術者にすぐに報告します。

臨床検査部 中元星司

医療安全管理室

医療安全とは、「患者の安全を確保するためには、まず、我々医療従事者の不断の努力が求められる。日常診療の過程にいくつかのチェックポイントを設ける、単独の過ちが即ち医療事故というかたちで患者様に実害を及ぼすことのないような仕組みを院内に構築する。」という基本理念のもと、それぞれの医療従事者の個人レベルでの事故防止対策と、医療施設全体の組織的な事故防止対策の二つの対策を推し進めることによって医療事故を無くし、患者様が安心して安全な医療を受けられる環境を整えることを目標としています。病院長のリーダーシップのもと、全職員がそれぞれの立場から、患者様の安全を確保しつつつ必要な医療を提供していくよう取り組んでいます。その中心となるのが医療安全管理委員会と医療安全管理室です。患者様と直接係ることは少ないですが、患者様の安全のために働いております。

医療安全管理室 笹山留美



「今までもない頭痛」を経験されている方が、急に頭痛が起きる場合があります。頭痛の原因は、脳の血管が収縮し、血流が減少することによって起こります。また、脳の血管が拡張し、血流が増えることによっても頭痛が起きることがあります。頭痛は、脳の血管が収縮し、血流が減少することによって起こります。また、脳の血管が拡張し、血流が増えることによっても頭痛が起きることがあります。

激しい頭痛

頭痛の原因は、脳の血管が収縮し、血流が減少することによって起こります。また、脳の血管が拡張し、血流が増えることによっても頭痛が起きることがあります。頭痛は、脳の血管が収縮し、血流が減少することによって起こります。また、脳の血管が拡張し、血流が増えることによっても頭痛が起きることがあります。



頭痛の原因は、脳の血管が収縮し、血流が減少することによって起こります。また、脳の血管が拡張し、血流が増えることによっても頭痛が起きることがあります。頭痛は、脳の血管が収縮し、血流が減少することによって起こります。また、脳の血管が拡張し、血流が増えることによっても頭痛が起きることがあります。



原因複雑 重症の可能性も

頭痛の原因は、脳の血管が収縮し、血流が減少することによって起こります。また、脳の血管が拡張し、血流が増えることによっても頭痛が起きることがあります。頭痛は、脳の血管が収縮し、血流が減少することによって起こります。また、脳の血管が拡張し、血流が増えることによっても頭痛が起きることがあります。

今までにない痛み 治っても一度診察を

頭痛の原因は、脳の血管が収縮し、血流が減少することによって起こります。また、脳の血管が拡張し、血流が増えることによっても頭痛が起きることがあります。頭痛は、脳の血管が収縮し、血流が減少することによって起こります。また、脳の血管が拡張し、血流が増えることによっても頭痛が起きることがあります。

頭痛の原因は、脳の血管が収縮し、血流が減少することによって起こります。また、脳の血管が拡張し、血流が増えることによっても頭痛が起きることがあります。頭痛は、脳の血管が収縮し、血流が減少することによって起こります。また、脳の血管が拡張し、血流が増えることによっても頭痛が起きることがあります。

頭痛の原因は、脳の血管が収縮し、血流が減少することによって起こります。また、脳の血管が拡張し、血流が増えることによっても頭痛が起きることがあります。頭痛は、脳の血管が収縮し、血流が減少することによって起こります。また、脳の血管が拡張し、血流が増えることによっても頭痛が起きることがあります。

頭痛の原因は、脳の血管が収縮し、血流が減少することによって起こります。また、脳の血管が拡張し、血流が増えることによっても頭痛が起きることがあります。頭痛は、脳の血管が収縮し、血流が減少することによって起こります。また、脳の血管が拡張し、血流が増えることによっても頭痛が起きることがあります。

皆さん、「NST」とは…

NSTとは、栄養サポートチーム（Nutrition Support Team）の略です。NSTは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士など、多職種で構成されています。NSTは、患者様の栄養状態を評価し、適切な栄養サポートを提供するために活動しています。

『NST』とは…

健康サポートチームです



NSTは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士など、多職種で構成されています。NSTは、患者様の栄養状態を評価し、適切な栄養サポートを提供するために活動しています。

NSTは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士など、多職種で構成されています。NSTは、患者様の栄養状態を評価し、適切な栄養サポートを提供するために活動しています。

NSTは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士など、多職種で構成されています。NSTは、患者様の栄養状態を評価し、適切な栄養サポートを提供するために活動しています。

NSTは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士など、多職種で構成されています。NSTは、患者様の栄養状態を評価し、適切な栄養サポートを提供するために活動しています。

NSTは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士など、多職種で構成されています。NSTは、患者様の栄養状態を評価し、適切な栄養サポートを提供するために活動しています。

シリーズ

～フットケア～

フットケアとは、足の健康を維持するためのケアです。フットケアには、足の皮膚を保湿すること、足の爪を適切に手入れすること、足の靴を適切に履くことなどが含まれます。フットケアは、足の健康を維持するために重要な役割を果たしています。

糖尿病外来

糖尿病外来では、糖尿病の診断、治療、予防について相談できます。

糖尿病外来では、糖尿病の診断、治療、予防について相談できます。

糖尿病外来

糖尿病外来では、糖尿病の診断、治療、予防について相談できます。

糖尿病外来では、糖尿病の診断、治療、予防について相談できます。